

地域密着型金融の取組み

当金庫は、経営理念と「ぎふしんSDGs宣言」に基づき、これまでの事業活動をさらに拡大・推進し、地域社会の課題解決を通じて、地方創生と持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ぎふしんSDGs宣言

1. 私たちは、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に尽力し、地域の課題解決を通じ、地方創生と持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。
2. 私たちは、地域金融機関としての役割を認識し、お客さまに対して、SDGsに関する情報を積極的に発信し、SDGsの普及に貢献してまいります。
3. 地方創生とSDGs金融の促進のため、注力するゴールを定め、活動強化に努めてまいります。

- 持続可能な地域の経済成長のための活動
- 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- 持続可能なまちづくりのための活動



2021年度の活動報告

1. お取引先企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

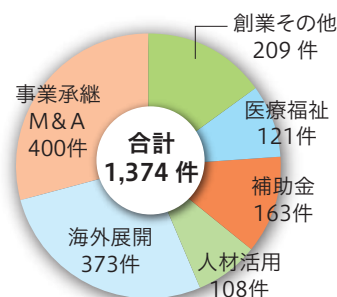
経営相談全体の取組実績

お取引先企業に対する経営相談は1,374件となりました。

長期的なお取引関係を通じて蓄積された情報や、外部専門家、外部機関等とのネットワークも活用することで、幅広い分野やライフステージに応じた適切なソリューションを提案してまいります。

経営相談の分野別割合 [件]

創業・その他	209
医療福祉	121
補助金	163
人材活用	108
海外展開	373
事業承継・M&A	400
合計	1,374



共通ベンチマーク3「金融機関が関与した創業、第二創業の件数」

ベンチマーク(指標)	実績
創業融資	164件

共通ベンチマーク4「ライフステージ別の与信先数(企業・事業者単位ベース)、及び、融資額」

ベンチマーク(指標)	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	16,643先	2,135先	1,186先	10,070先	1,249先	1,029先
融資額	8,790億円	723億円	726億円	5,914億円	500億円	634億円

※「金融仲介機能のベンチマーク」は、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として、2016年に金融庁により公表されました。

(1) 創業・新分野進出・成長支援の取組み



オンライン経営支援プラットフォーム「ぎふしんBig Advance」

2021年10月よりオンライン経営支援プラットフォーム「ぎふしんBig Advance」の取扱いを開始いたしました。当サービスはインターネット上で販路開拓(ビジネスマッチング)支援や補助金等の各種情報提供、従業員向け安否確認などを行う会員制Webサービスです[会費:月額3,300円(税込)]。全国の金融機関が導入を進めており、2022年3月末時点での導入金融機関数は82行庫、会員となった企業数は7万社を超え、当金庫においても取引先企業のビジネスマッチング機会の提供に積極的に取り組んでおります。



ぎふしんBig Advance

事業再構築補助金の採択支援

当金庫は、「認定支援機関※」の認定を受けた地域金融機関として、お取引先企業の成長をサポートするための業務に力を入れています。中でも、大型の事業者支援補助金である「事業再構築補助金」の申請支援を通じて、お取引先企業の事業革新に取り組んでおります。なお、133件は東海3県(岐阜、愛知、三重)の信用金庫で最も多い実績です。

※中小企業を巡る経営課題が多様化・複雑化するなか、中小企業支援を行う支援事業の担い手の多様化・活性化を図るため、2012年に「中小企業経営力強化支援法」(現在の「中小企業等経営強化法」)が施行。中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う経営革新等支援機関を認定する制度。

事業再構築補助金 第1回から第4回 岐阜信用金庫支援先の採択数

	[件]
第1回	29
第2回	45
第3回	22
第4回	37
合計	133

提携先の拡充

2021年は、お取引先企業の経営課題やニーズにお応えできるよう、幅広い専門家や専門性の高い企業との提携先の拡充に取り組みました。具体的には、事業承継、DX化、知的財産(特許や商標等)、人材の獲得、新たな取組みを行う上での業界分析や市場調査等、多岐にわたる分野での提携を拡充いたしました。一例として、2021年6月18日、INPIT岐阜県知財総合支援窓口およびINPIT愛知県知財総合支援窓口と知的財産の普及に係る包括連携協定を締結いたしました。当金庫は、提携先とのネットワークや知見を生かし、お取引先企業の本業支援に取り組んでまいります。

(2) 人事労務に関する取組み



お取引先社員研修会

当金庫は、例年3月~4月にかけて、お取引先企業の新入社員等を対象として、お取引先社員研修会を実施しています。2022年3月~4月に開催した研修会には229名の新入社員の方々が参加され、社会人として必要とされるビジネスマナーを身につけていただきました。当金庫は、お取引先企業に対する実効的な本業支援を通じて、地元中小企業の健全な発展のサポートに貢献してまいります。



オンラインでのお取引先社員研修会の様子

人材紹介事業

当金庫は、2020年10月より「有料職業紹介事業」の許可を取得して人材紹介事業を開始しております。近年、企業における人材不足は深刻化しており、地域企業にとって重要な経営課題となっています。本事業を通じて、地域企業の「ヒト」に関する経営課題に真摯に向き合い、課題解決に向けたご支援を行うことにより、地域経済の活性化と地域社会の持続可能性の向上に努めてまいります。

(3) 海外業務サポートの取組み



タイのTMBタナチャート銀行との業務提携について

2021年9月10日、お取引先企業の海外ビジネス支援を目的に、タイのTMBタナチャート銀行と業務提携を締結いたしました。同行は、現地進出の日系企業の支援にも積極的であり、本業務提携により、市場動向や投資環境等の情報提供、現地での口座開設、外国為替等各種金融サービスの提供が可能となります。

当金庫では昨今、タイに関する相談実績が増加しており、継続的なコンサルティング機能の提供が必要であるとの認識の下、アフターコロナも見据え、お取引先企業の海外進出支援の強化ならびに現地サポート体制の充実を図るものです。今後も、外部機関との連携強化に努め、お取引先企業の海外進出・海外販路の拡大等、多様化する海外ビジネスニーズに応えてまいります。



業務提携 締結日のWeb面談の様子

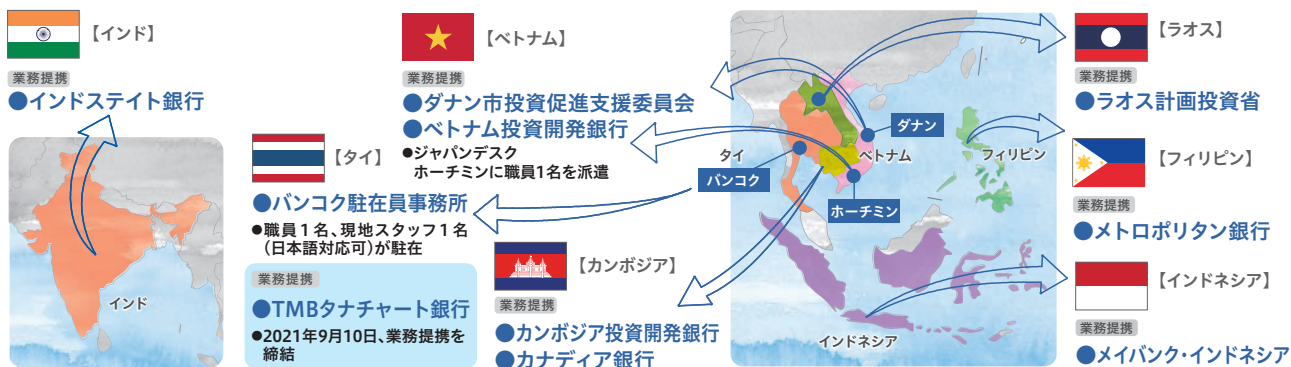
当金庫の海外拠点および海外業務提携先

●バンコク駐在員事務所

バンコク駐在員事務所では、タイに進出中、もしくは進出を検討しているお取引先企業に対し、市場動向や投資環境などの現地情報を提供しております。また、ビジネスマッチングの活用により、現地での事業展開をサポートするとともに、お取引先企業の海外販路の開拓など、多様化する海外ビジネスニーズに対応しております。

●外国政府機関や外国銀行との業務提携

当金庫では、お取引先企業において海外展開の対象とする国が広がりを見せるとともに、輸出入や販路開拓など、海外ビジネスニーズが多様化していることを受けて、海外現地でのサポート体制を拡充しております。現在、ベトナムやカンボジア、インドなどの外国銀行と業務提携を結んでいるほか、ダナン市投資促進支援委員会(ベトナム)やラオス計画投資省といった政府機関とも業務提携を結んでおり、海外からの企業誘致・投資促進などで政府レベルでの支援が提供できる環境整備にも取り組んでおります。今後も、外国政府機関や外国銀行との業務提携を検討していくことで、お取引先企業の海外進出、海外展開をサポートするための環境整備を一層進めてまいります。



(4) M&A、事業承継の取組み

中小企業の経営者にとって、後継者問題は大きな経営課題となっています。

経営者の平均年齢は60歳を超え、親族での後継者がいる場合でも、事業を引き継ぐ際にはさまざまな問題に直面するケースが多くなっています。当金庫では、事業承継という企業経営の大きな節目に際して、地域金融機関としての長年の経験とネットワークを活かし、それぞれの企業に合った事業承継のあり方をオーダーメイドでご提案し、企業の持続的な発展をお手伝いいたします。



第6回
ビジネスセミナーチャリシ

(5) 事業再生支援の取組み



当金庫ではお取引先企業ごとの経営課題を理解した上で、最適なソリューションを提案し、その実行支援を通じて課題解決に資する事業再生支援の取組みを行っています。

新規事業の設備投資により、事業再構築支援を行った事例

業務用お茶製品(インスタントティー)のOEM事業を営むA社は、同業他社との競争激化による収益の低下等の課題を抱えておりました。

当金庫は、コロナ禍の長期化により、業務用市場や既存の商材による業績改善策を見直し、消費者向け市場への参入に向けA社と検討を重ねました。その結果、様々な袋状包装に対応する高精度充填包装機の導入、食品衛生法で求められる賞味期限印字内製化のための設備投資の実施により、大手メーカーの要求に応える品質の商品提供が可能となることで、新規受注が見込める状況となりました。

当金庫は、この設備投資実現に向け、事業再構築補助金を交えた資金計画の策定を支援し、自己負担分については長期資金を導入しました。こうした一連の取組みにより、設備投資を実施し、大手メーカーからの受注を確保するに至りました。これからも当金庫はお取引先企業の課題を共有し、課題解決に向けた取組みを実施してまいります。

共通ベンチマーク1 「金融機関がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数(企業・事業者グループベース)及び同先に対する融資額」

ベンチマーク(指標)	実績
メイン先数	9,007先
与信先数	14,959先
(全与信先に占める割合)	60.2%
メイン先の融資額	5,843億円
経営指標等が改善した先数	6,700先

共通ベンチマーク2「金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況(企業・事業者単位ベース)」

ベンチマーク(指標)	条件変更先	好調先	順調先	不調先
経営改善計画の進捗状況	1,421先	231先	472先	718先

※売上または償却前経常利益計画の達成率で分類(好調先:120%超、順調先:80~120%、不調先:80%未満)

(6) 経営者保証に関するガイドラインへの取組み



当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お取引先企業からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お取引先企業との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2021年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は3,828件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は25.32%、保証契約を解除した件数は394件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)は2件です。

共通ベンチマーク5「金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合(企業・事業者単位ベース)」

ベンチマーク(指標)	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	1,886件	1,928億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	11.3%	21.9%

2. 地域経済活性化への貢献と地方創生の実現

(1) 地方創生と持続可能な社会の実現



ぎふしん 金融教育 岐阜聖徳学園大学との産学連携講座

2021年6月・7月、岐阜聖徳学園大学との産学連携協定に基づき、経済情報学部「キャリアデザインII」(3年次開講科目)に参加しました。本授業は、多様な業界への興味喚起や、社会人基礎力の一つでもある「考え抜く力」「チームで働く力」の醸成を目的としています。

2021年度も、お取引先企業が現在抱えているリアルな事業課題とその解決策をミッションとして提示いただき、学生たちがその課題に対して解決策と、新規事業を検討しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生はオンライン上で打ち合わせを行い、新ビジネス案をリモートにてプレゼン発表しました。授業の最後には、学生の提案に対し、講師であるお取引先企業の方々から講評をいただき、アドバイスや就活に向けてのメールを送りました。



リモートでのプレゼン発表の様子

(2) ぎふしん 青年重役会の活動



ぎふしんWeb新春合同講演会

2022年1月、当金庫とお取引先若手経営者で組織する「ぎふしん青年重役会」との共催により「ぎふしんWeb新春合同講演会」を開催しました。日本総合研究所名誉理事長の高橋進氏を講師に招き、「ポストコロナの日本経済の進路」をテーマとして講演いただきました。当会は、経営者自らが多様化・高度化する市場ニーズに対応しながら、自ら経営革新を図り、競争力・適応力を身につけることを目的としており、当金庫は継続して会員をサポートしてまいります。



Web新春合同講演会の様子

(3) 地域経済の面的再生への関与



第6回売り込みビジネス商談会

2021年11月、当金庫と岐阜商工会議所が主催して「第6回売り込みビジネス商談会」を開催し、地域の特産品の掘り起こしとお取引先企業の販路拡大・売上増加に取り組みました。

商談会当日は33社の企業が地元食材・地域色豊かな雑貨・コロナ対策関連商品を出品し、96件の商談が行われました。お取引先企業の新たな分野への挑戦の場となり、熱意のこもった商談会となりました。



第6回売り込みビジネス商談会の様子

岐阜・高島屋南地区市街地再開発事業「柳ヶ瀬グラッスル35」

岐阜市柳ヶ瀬地区は、2022年度の完成を目指して建設が進む「柳ヶ瀬グラッスル35」の開発により、大きく変貌をとげようとしています。

この開発により、当地区にイノベーションがもたらされ、岐阜市中心市街地の活性化に繋がるものと期待されています。当金庫は、この再開発事業に事業パートナーとして参加するだけでなく、当地区の賑わい創出を目的とした街づくりにも地元商工団体等と連携し、積極的に関与しています。



「柳ヶ瀬グラッスル35」建設風景
(高島屋南市街地再開発組合 提供)

(4) 地域のお客さまとのイベント活動

幸せの共感で繋がる好循環サイクルの実現



ぎふしん収集ボランティア

(当金庫、関連会社 役職員の活動)

「ぎふしんSDGs宣言」に基づき、コロナ禍においても、誰もが僅かな心がけで、身近にできるボランティア活動として展開し、収集した使用済切手等を2021年7月27日に岐阜県社会福祉協議会へ寄贈いたしました。



「今、私たちにできること」(ユニセフへの寄付)

「ぎふしんアプリバンキング」についてお客さまのご利用を促進するにあたり、ユニセフ支援プログラム「今、私たちにできること」を2021年5月より実施し、9月22日に100万円を(公財)日本ユニセフ協会に寄付いたしました。



ぎふ健康ウォーク

健康増進を目的に、40年以上続く岐阜市内のスポーツイベントであり、参加者がチェックポイントを通過しながら金華山を登山するイベントです。2021年11月3日に多くの市民が参加しました。



岐阜市学童野球

青少年の育成を目的として、岐阜市内の学童野球チームによる少年野球大会です。コロナの影響もあり、途中中断もありましたが、熱戦が繰り広げられ、2021年11月28日に決勝戦が行われました。



ぎふしん愛の募金活動

(当金庫、関連会社 役職員の活動)

SDGsの理念のもと、2022年3月に岐阜県医師会を通じてコロナ最前線で活躍する医療従事者の皆さまに募金を寄付いたしました。また、地域の社会福祉のお役に立ていただくため、岐阜県・愛知県・岐阜市・名古屋市社会福祉協議会へも寄付いたしました。



第1回ぎふしん杯こども将棋「岐王戦」

岐阜を舞台に子どもたちが将棋の腕前を競い合うこども大会「第1回ぎふしん杯こども将棋『岐王戦』」を、2021年12月12日に開催しました。大会では、岐阜県出身者のプロ棋士高田明浩四段をスペシャルゲストに迎え、トークショー、指導対局等を行いました。当金庫は、新たなプロ棋士を輩出する大会に発展することを期待し、こどもたちの未来に向けて、夢を育む活動を継続してまいります。



ぎふしんプレミアムコンサート

地域の音楽文化の発展を目的として、ヴァイオリニスト古澤巖氏を招き、「ぎふしんプレミアムコンサート～古澤巖ストラディヴァリウスを弾く～」を2022年3月10日に岐阜市のサラマンカホールで開催し、多くのお客さまに一流の旋律をお届けしました。



ウクライナ募金(ユニセフ)

2022年3月、「ぎふしんプレミアムコンサート」の会場にて「ぎふしん愛の募金」を実施し、来場者の皆さまの善意のお金を、岐阜県ユニセフ協会を通して、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」へ寄贈いたしました。



(5)公益財団法人ぎふしん記念財団の活動

豊かな町、美しい町、住みよい町を創造するために

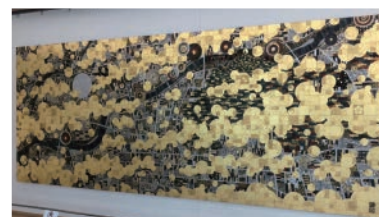


〔活動目的〕 地域社会の活性化を図るため、公共的な活動及び助成をとし、広く地域社会の健全な発展のために寄与することを目的とする。

箔画「岐阜楽市楽座図」の岐阜市への寄贈について

2021年8月12日、当金庫と(公財)ぎふしん記念財団は、岐阜市新庁舎の開庁を記念して箔画「岐阜楽市楽座図」を寄贈いたしました。制作者の野口琢郎氏は、京都西陣の箔屋野口(創業1877年)の五代目であり、箔画作家として国内外で活躍されています。

岐阜市を象徴する風物(岐阜城、金華山、ぎふ長良川鶺鴒など)と、岐阜市の賑わいを抽象化し、金・銀・プラチナ箔で表現することで、令和の岐阜市の発展を後世に伝える作品としました。この作品を多くの方々にご覧いただくことで、地域に対する愛着や誇りを一層高めていただき、市民の共通の財産として後世に伝えられることを願っています。

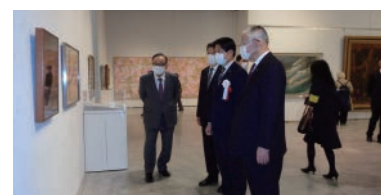


箔画「岐阜楽市楽座図」

「～岐阜、豊島 ゆかりの地をつなぐ～熊谷守一展」

(公財)ぎふしん記念財団は、2021年12月4～19日に、岐阜市等と共催し「～岐阜、豊島 ゆかりの地をつなぐ～熊谷守一展」をみんなの森 ぎふメディアコスモスにて開催しました。同展覧会は、郷土出身の熊谷守一の人間性にフォーカスした内容であり、少年期を過ごした岐阜市と、晩年を過ごした東京都豊島区の連携により開催したものです。

今後も当財団は、岐阜市の芸術・文化振興事業への継続的なご支援を通して、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



熊谷守一展の様子

3. 地域やお取引先企業に対する積極的な情報発信

当金庫の地域密着型金融に関する各種取組や実績を公表しています。

また、情報誌「ミニトーク」により経営に役立つ情報提供を行っております。



ミニトークNo.36



ミニトークNo.37



ミニトークNo.38



ミニトークNo.39

2022年度 地域密着型金融の取組方針

お取引先企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

地域経済活性化への貢献と地方創生の実現

地域やお取引先企業に対する積極的な情報発信

当金庫は、地域金融機関として地方創生と持続可能な社会の実現に貢献するため、さまざまな商品・サービスの開発・提供に取り組んでおります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「ぎふしん SDGsパートナーシップローン」取扱開始

2021年12月1日より、SDGsの普及に向けた取組みとして、「ぎふしんSDGsパートナーシップローン」の取扱いを開始しました。本商品は、SDGsを現在推進している、もしくは今後行う予定のお客さまに対する金利優遇項目を設けております。また、当金庫独自の「SDGsチェックシート」を作成することで、お取引先の事業活動とSDGsの結び付きが明確となり、実施状況が整理できる機能も備えております。これにより、お取引先に対する「SDGs」への理解が深められ、普及にも貢献できると考えております。取扱開始後、5カ月間で500件・100億円以上のご利用をいただいております。

アプリ受付専用「Eco応援ローン〈カープラン〉」取扱開始

SDGsへの取組みとして、脱炭素に向けた電気自動車等の購入を後押しするため、2021年8月27日より「Eco応援ローン〈カープラン〉」の取扱いを開始しました。環境にやさしいカーライフの応援をコンセプトとしているため、電気・燃料電池自動車やハイブリッド車を購入される方に、金利優遇を設けております。(最優遇金利：【変動】年1.8%)なお、本商品はぎふしんアプリバンキングよりお申込みが可能であり、ご来店不要のWEB完結型商品となっております。



Eco応援ローン〈カープラン〉

アプリ受付専用「教育応援ローン〈一括借入プラン〉〈カードローンプラン〉」取扱開始

2022年2月18日、当金庫は、来店いただくことなくお借入ができる「教育応援ローン〈一括借入プラン〉」の取扱いを開始しました。Eco応援ローン〈カープラン〉と同様に、ぎふしんアプリバンキングよりお申込みが可能です。本商品は、SDGs「4. 質の高い教育をみんなに」に基づき、取引内容に応じた金利優遇を設けず、一律低金利(【変動】年1.6%)としました。また、2022年5月13日、同〈カードローンプラン〉(【変動】年2.0%)を追加しました。当金庫は、すべての子育て世帯を応援しております。



教育応援ローン

投資信託の新商品の取扱開始

当金庫は、2022年2月7日に投資信託の新2商品「クリーンテック株式ファンド(資産成長型)【愛称:みらいEarth S成長型】」、「SDGsグローバル株式ファンド」の取扱いを開始しました。これらの商品は「環境」「SDGs」を投資テーマとしており、「企業の社会的責任」と「成長分野への投資」へのお客さまのニーズにお応えするものです。今後も、持続可能な世界を将来世代に残す取組みを進めてまいります。



クリーンテック株式
ファンド



SDGs グローバル株式
ファンド